

松本設計CM新設

大規模木造中心にRC等にも対応

松本設計ホールディングス

松本設計ホールディングス（東京都国立市）は8月、代表取締役の前に前専務の松本明美氏が就任した。この交代を契機として、前代表の松本照夫氏は「松

本設計コンストラクションマネジメント」（松本設計CM）を新たに設立。ここ数年、木造に取り組むゼネコンが増加する一方で、木造設計や建設会社と

の連携に苦勞する企業が多く、こうした現状を受け、松本設計が培ってきた木造設計の実績を基にサポートする体制を強化する。

照夫氏が社長を務め、中大規模木造を中心に、RC造やS造にも柔軟に対応する。同ホールディングス内で蓄積された木造建築のノウハウを生かし、ゼ

ネコンや施工会社との連携を強化することで、コンストラクションマネジメント業務の拡充を図る。

今後、社外パートナーである経験豊富な設計士とも協力し、より多くのプロジェクトに対応可能な体制を構築する方針だ。

エネ設計などに対応する各専門会社があり、2025年の建築基準法改正に向けてさらなる体制強化を進めている。また、同ホールディングスが開発した即時耐震診断装置を用いた「AI耐震診断、AI維持管理」は既に特許を取得しており、同年からの本格展開を視野に入れている。